一、組合會議ニ綿ヲ置ク組合ニ對シテハ從來ノ如キ、デマヲ飛バスモノヲ組合運動發展ノ爲ニ斷然處分セネバナラナイ、理論鬪爭ハ歡迎スベキモノガ個人的中傷ヲ排斥スベキモノデアリ充分取締ラネバナラナイ、斯クシテノミ資本家ト十分ナ鬪爭ガ出來ルノデアル。

世界ノ景氣ハ立直リ始メタ愈々不景氣ハ底ヲツキ全般デハナイガ農產物、生絲、綿糸等ノ如キ一部分ガ騰貴シ會社ノ生產品モ漸分ニ値上リシツヽアル。從ッテ、勞働力ノ需用ガ增加シ、會社工場ノ從業員ハ十人ヲ二十人ヘト增大サレテ行クデアロウ。

今日迄ノ我々ノ鬪爭ハ首切反對或ハ賃下反對ノ防衞的鬪爭デアッタガ今後ハ賃銀値上ノ爲ノ攻勢的ナ活潑ナル鬪爭トナルノデアルカラ我等ハ今後開催スル大會ニ於テ運動方針ヲシッカリ定メテ鬪爭ヲ展開シテ行キ其爲ニハ未組織大衆獲得ニ力ヲ致シ益々組織ノ擴大サンコトヲ願ヒタイ。

（財團法人協調會大阪支所調査課）